

「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」の概要について
 ～平成 17 年度 我が国における旅行消費の経済波及効果～

①調査の目的

本調査は、平成 12 年度（2000 年度）から 5 ヶ年にわたり国土交通省が実施した「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」に引き続き実施された調査である。

これまでの調査研究結果を踏まえ、総務省の承認統計として「旅行・観光消費動向調査」を実施し、平成 17 年度（2005 年度）における我が国の旅行消費額と、それが我が国にもたらす経済波及効果を推計することが目的である。

②調査の方法

総務省の承認統計として、全国 15,000 人を対象とした「旅行・観光消費動向調査」を実施し、我が国における旅行消費額を推計した。

さらに、この旅行消費額を産業部門別に分類し、平成 12 年（2000 年）産業連関表を用いて平成 17 年度（2005 年度）の旅行消費が我が国にもたらした経済波及効果を推計した。

③平成 17 年度（2005 年度）の旅行消費額

平成 17 年度（2005 年度）中に我が国に支払われた旅行消費額は 24.4 兆円（訪日外国人旅行消費額 1.6 兆円を含む）と推計される。海外に支払われた旅行消費額は 5.1 兆円であり、国民の旅行消費額は 27.8 兆円（訪日外国人旅行消費額 1.6 兆円を除く）と推計される。

前年度と比べると、宿泊旅行（国内）の消費額が減少した。一方で、日帰り旅行（国内）の消費額が増加したほか、訪日外国人旅行数の伸びに伴い訪日外国人旅行消費額が増加した。その結果、平成 17 年度（2005 年度）に我が国に支払われた旅行消費額の総額は、前年とほぼ同じ水準の金額となった。

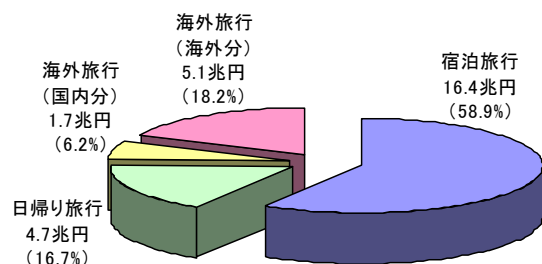
図表 1 平成 17 年度（2005 年度）の旅行消費額

（単位：十億円）

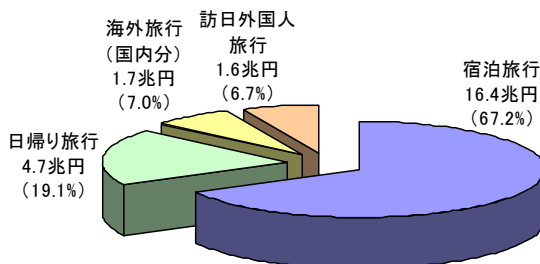
費 目	宿泊旅行 （国内）	日帰り旅行 （国内）	海外旅行 （国内分）	国民の旅行 （国内分）	訪日外国人 旅行	国内の 旅行消費額
旅行消費額（旅行中＋前後）	16,407	4,657	1,716	22,780	1,645	24,425
対前年度増加率	-1.4%	2.7%	0.2%	-0.4%	3.8%	-0.2%
旅行前後支出	2,420	877	521	3,817		
旅行前支出	2,179	795	470	3,444		
旅行後支出	241	82	51	510		
旅行中支出	13,988	3,780	1,195	18,963		
旅行会社収入	258	45	289	592		
交通費	4,968	2,013	770	7,751		
宿泊費	3,621	0	20	3,641		
宿泊費（別荘等帰属計算）	644	0	0	644		
飲食費	1,661	522	28	2,211		
土産代・買物代	2,086	790	83	2,958		
入場料・施設利用料	558	341	0	899		
その他	191	70	5	266		
			g	h=d+g		
			海外旅行 （海外分）	国民の旅行 （海外分含）		
			5,053	27,833		

図表2 市場別にみる平成17年度（2005年度）の旅行消費額

■国民の旅行消費額 27.8兆円の市場別内訳



■国内の旅行消費額 24.4兆円の市場別内訳



④旅行消費が我が国にもたらす経済波及効果

旅行消費による生産波及効果 55.3 兆円は、「平成 12 年（2000 年）産業連関表」の国内生産額 949.1 兆円の 5.8%にあたり、付加価値効果 29.7 兆円は平成 17 年度（2005 年度）名目 GDP 505.1 兆円の 5.9%に相当する。

また、雇用効果 469 万人は、平成 16 年度（2004 年度）就業者 6,370 万人（内閣府「国民経済計算年報」）の 7.4%を占めている。税収効果は 5.0 兆円と試算され、この額は平成 17 年度（2005 年度）税収見込額（国税＋地方税）85.6 兆円の 5.8%に相当する。

図表3 旅行消費が我が国にもたらす経済波及効果

